

ニホンナシ新品種「はつまる」、「ほしあかり」



写真1 「はつまる」の果実
(♀筑水×♂(雲井×幸水))



写真2 「ほしあかり」の果実
(♀(巾着×豊水)×♂あきあかり)

表 「はつまる」、「ほしあかり」の特性

品種名	開花期		収穫 盛期	果実重 (g)	糖度計 示度	pH	硬度 (lbs)	みつ症	裂果
	始期	盛期							
はつまる	3月31日	4月4日	7月26日	264	11.8	5.2	3.9	無	無
幸水(対照)	4月5日	4月9日	8月8日	325	10.8	5.3	5.6	無	無
ほしあかり	4月1日	4月5日	8月28日	400	13.7	5.2	4.9	無	無
豊水(対照)	4月1日	4月5日	8月31日	514	11.7	4.8	4.7	少	無

※月日、数字は果樹試験場での2010～2013年の平均値。みつ症の発生は無、少、多の3段階、裂果は無、有を達観で判定。

「はつまる」と「ほしあかり」は国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構果樹研究所で育成されたナシの新しい品種です。高知県においても平成22年度から系統適応性試験を行っていますので、その特性について紹介します。

「はつまる」は、「幸水」に比べ開花期は5日早く、収穫盛期は2週間ほど早い極早生の赤ナシ品種です。果実は「幸水」より小ぶりで、糖度は高く、果肉は軟らかくジューシーです(表)。「極早生で初物となり得る丸いナシである」ことからこの品種名がつけられました。

「ほしあかり」は、「豊水」と開花期は同時期で、収穫盛期は同等かやや早い中生の品種です。果実は「豊水」に比べ小ぶり

で、糖度は高く、みつ症の発生はみられませんでした(表)。「黒星病抵抗性であり、「あきあかり」の子供である」ことからこの品種名がつけられました。

しかし、「はつまる」では暖冬年に花芽の枯死と発育不良が多く認められることや、「ほしあかり」では樹勢が弱く、一部枯死するなどの問題がみられたことから、品種選択の際には注意が必要となります。

今後は「はつまる」の花芽の枯死の発生状況を具体的に把握するため、継続して調査していく予定です。

なお、両品種とも苗木の流通は数年後になります。

(果樹試験場 松下本樹 088-844-1120)